



9月号

平成27年8月27日

横浜市立東中田小学校

校長 芝 フク代

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>



自分の命を自分で守る力を育てる！（第2弾）

～備えることや体験することの大切さ～

校長 芝 フク代

学校日より7月号で、第4学年と第6学年で例年行う着衣水泳についての目的や必要性等についてお伝えしました。今回は、7月23日（木）に外部講師にも来ていただき、PTAの実行委員さんの協力のもと、1年生とその保護者の着衣水泳を行いました。その様子をお知らせいたします。

朝は雨が降っていました。初めての試みでしたので、是非とも実施したいと思っていましたら、お昼近くなると雨も上がり、着衣水泳を行うことができました。見学の方や教師も



含めると、全員で40名の着衣水泳の訓練となりました。

まず、水着だけで水慣れをし、

次に洋服とズボンを身に付けて水に入ったときの違いを体験しました。洋服を着た状態で水の中に入るととても重く、さらに靴を履いていると感覚がいつもと全く違うことが第一の驚きでした。それから、実際に浮く体験をしました。1年生の子どもたちにとっては、頭を後ろに倒すことにより

抵抗がありましたが、保護者の方がしっかり手を頭に添えたり、腰を支えたりすることで全員浮くことができました。保護者の方はしっかり足と腕を広げ、上手に浮くことができました。浮くことが一番のポイントでしたので、いざというときも落ち着いてこの訓練を思い出して、慌てることなく行動してほしいと思いました。

最後に、ペットボトルを利用して浮く体験と救助を行う体験を行いました。ペットボトルをおへそのあたりで持つと長く浮くことができることや救助にペットボトルを使うときは、少し水を入れて投げてあげると遠くまで飛ぶことも教えていただきました。

例年は子どもたちだけの訓練でしたが、今回初めて保護者の方にも加わっていただき、「子どもと一緒に体験することができてとても有意義だった。」「来年はもっとみんなに呼び掛けて命を守ることを実感してもらいたい。」等の感想をいただきました。「自分の命は自分で守る」ことの大切さを親子で感じていただけてよかったです。来年度に向けて検討していきたいと思えます。ご家庭でも交通安全、防災・防犯等、命にかかわることを具体的に話し合ったり、対応を実際に取り組んでみたりしたらいかがでしょうか。

夏季休業中は地域のお祭りもたくさん行われました。子どもたちが大勢参加していて、とても嬉しかったです。マーチングも今年度初めての演奏をさせていただきました。本校の子どもたちを地域で育てていってくださっていることを今年度も強く感じることができました。本当にありがとうございました。

